

無料版

3月号



毎月1日発行
第35号 定価 540円 (本体500円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます
購読・広告のお申し込みは
☎03-3371-9340
発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

自動車次難は 白物盗 盗難 その手口と対策

あなたのお店も狙われている!!

中古車の盗難。それは自動車事業者にとって、常に「そこにある危機」といえるだろう。日頃から取材をしていると、「あそここの販売店、盗難に遭つたらしい」とか、「どこその買取店、やられてしまったみたい」など、在庫車が盗まれたという話を聞くことがある。
実は、読者の皆様からも「今度は盗難車を取り上げて欲しい」という要望は強く、犯罪防止の観点からも一度掲載したいと考えていた。
そこで今号では、実際に在庫車の盗難被害に遭った販売店に聞いた話をまとめ、その被害状況や手口、防犯対策などを紹介したい。



警察庁統計によると、自動車盗難の認知件数は、実は、ここ数十年で劇的に減少している。
03年には、年間6万4223件も発生していたのだが、昨年は暫定値で1万4000件弱の見通しとなっており、2割程度まで減少した。

この背景には、イモビライザーを搭載した車の普及がある。ご存じであろうが、これはカギと車載されたコンピュータの間で数百万通りのIDコードを照合するもので、その複雑な仕組みから、不正なエンジン始動は不可能と言われてきた。

しかしながら、このイモビライザーを瞬時にキャンセルするイモビキャンセラーなるものが出現し、犯罪市場にも瞬く間に出現した。現在では、そのイモビキャンセラーをガードする道具まで売られているが、イタチごっこの様相は否めない。

また、最近の自動車盗難は組織的な犯行が中心とされており、200万円以上の高額車は、むしろ増加傾向にある。

《2面へつづく》

最強買取店の実商談

《3・4面》

他店に行つたお客様が

戻ってくる!!

新連載

この販売店が「イザー」の流れを変えた!!

(株)リバイター (京都府) 《22面》

検査の匠

外板部位の盲点とは?

《9面》

“今”が入会チャンス!!

3月までに契約すると6月までお試しキャンペーン 月会費 2,800円 (税別)

【月会費割引対象となるのは1月より「参加」～3月までに「契約」を行なった会員様のみとなります】

さらに アイオーリアル利用料 入会月より3ヶ月間 無料!!

年間取扱 500万台から仕入れ可能!!



株式会社 アイオー

〒102-0075 東京都千代田区三番町8-1 詳しくは TEL.03-3512-6123

オーネット2輪をはじめ、アライベイスайд2輪とアライ福岡2輪も入札して買えます!

入札接続 115会場

リアル接続 75会場

アイオー 検索

《1面からつづく》

る。さらに、茨城県をはじめ、増加を示している地域もあり、一概に安心とは言えない状況だ。

それは、自動車販売店が被害に遭うケースはどれほどだろうか。

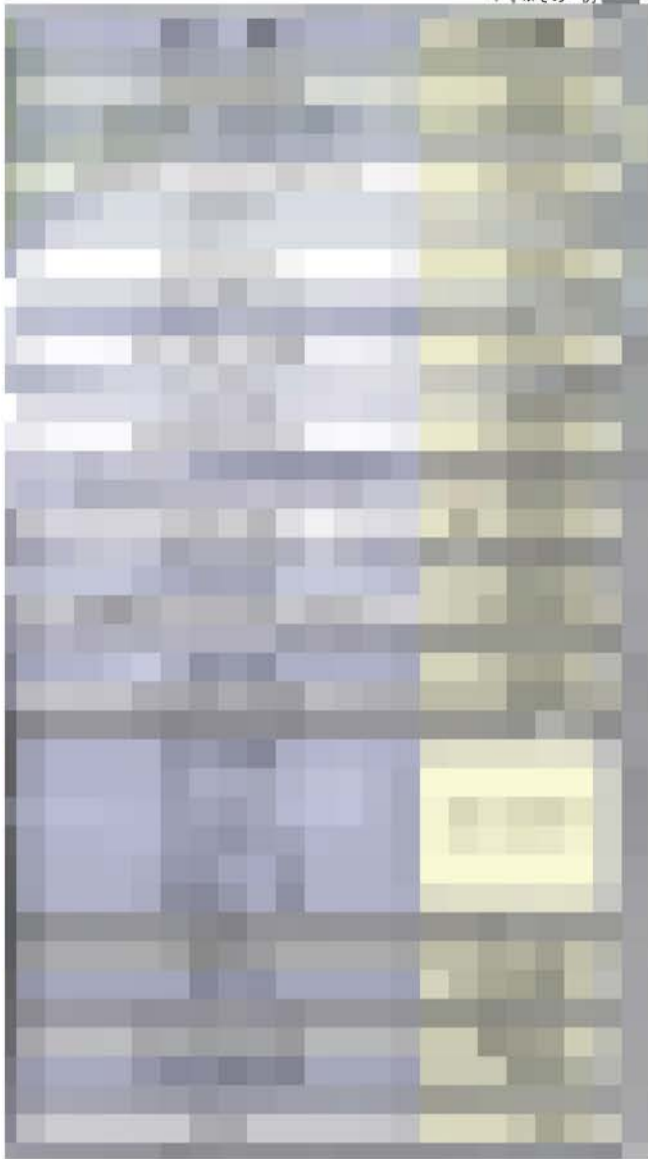
今回、特集記事を掲載するにあたり、購読者へのアンケートを実施。その結果をまとめると、自社の在庫車が1台でも盗難に遭ったことのある販売店は、全体の57%以上が被害に遭っているのである。

この結果に加えて、編集部がこれまで取材してきた盗難被害の内容もまとめたので、紹介している。

【重要】は要注意

まず、盗難に遭った主な車種と、その車の仕入れ価格を別表に記したのを見て欲しい。

実際に盗難された車種と仕入れ価格



はやはり多かった。ある販売店の場合では、仕入れ価格は420万円だったという。

また、このなかで

「は、保険に加入していたのだろうか。」

回答のなかには、「

意見もあった。皆様のお店では、いかがだろうか。

編集部が取材したところによると、販売店が大手の保険会社に手続きしている場合、

「が盗まれたという。注意が必要な車だ。」

その一方で、

「を狙った犯罪ばかりではなさそうだ。」

ところで、こうした盗難被害に遭った販売店

は、保険に加入していたのだろうか。」

回答のなかには、「

意見もあった。皆様のお店では、いかがだろうか。

編集部が取材したところによると、販売店が大手の保険会社に手続きしている場合、

「が盗まれたという。注意が必要な車だ。」

その一方で、

「を狙った犯罪ばかりではなさそうだ。」

ところで、こうした盗難被害に遭った販売店

は、保険に加入していたのだろうか。」

回答のなかには、「

意見もあった。皆様のお店では、いかがだろうか。

編集部が取材したところによると、販売店が大手の保険会社に手続きしている場合、

「が盗まれたという。注意が必要な車だ。」

その一方で、

「を狙った犯罪ばかりではなさそうだ。」

ところで、こうした盗難被害に遭った販売店



これが車を盗んだ手口!!

これが車を盗んだ手口!!

さて、では在庫車を盗難された実話を紹介する。

近畿地区のある販売店では、展示していた25年式のアルファードハイブリッドSR・Cパッケージが姿を消した。

門柱にはチェーンを掛け、アルファードの前は軽自動車でガードしていたという。

手口は、おそらくこうだろうと言う。

「神奈川のある買取店では、「

ちなみに、盗難保険の

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「と話す。

「このお粗末な犯人は当然、捕まったが、カギを入手された車の防犯は、かなりやつかいだ。また、展示車の試乗についても注意が必要。試乗時に合カギを作られたかも知れない」という、信じられないケースもあった。

千葉県で、実際に盗難被害に遭った販売店の社長はこう話す。

「事務所のアルミサッシをパールのような道具で外して侵入し、店内にあった保有車すべてのカギを盗んでいきました」という。

この販売店では、

「ことが意外だった」と驚いている。

このケースなどは、

「可能性が極めて高いからだ。」

その一方で、犯人と盗難事件の前に会っていた販売店もあった。

「犯人は

「その夜に盗

んでいきました。」

「犯人は

「その夜に盗

んでいきました。」

「犯人は

「その夜に盗

んでいきました。」

んでいきました。」

有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。お申し込みは17面、または電話03(3371)9340まで

《バイオークAA速報》2015年度実績(2月迄) 【新規搬入率77.4%】 【成約率:新鮮組84.4% 軽四2ブロック63.3%】 3月9日 SUAA近畿ジョイント12周年記念オークション 3月30日 2015年度決算記念オークション